

5

検証を踏まえた都市づくりの方向性

5-1 現行計画の検証・整理のまとめ

これまで現行計画について検証・確認した流れと結果を以下に示します。

まず、県土づくりを取り巻く社会潮流等の検証を行い、都市づくりの課題を整理し、その課題と現行計画で示された8つの基本方針の考え方の対応を確認しました。

次に、現行計画による各種都市づくりの方針に沿ってどのように都市づくりが行われているか、具体的な取り組み事例などの調査を行い、本県の都市づくりの状況を確認しました。

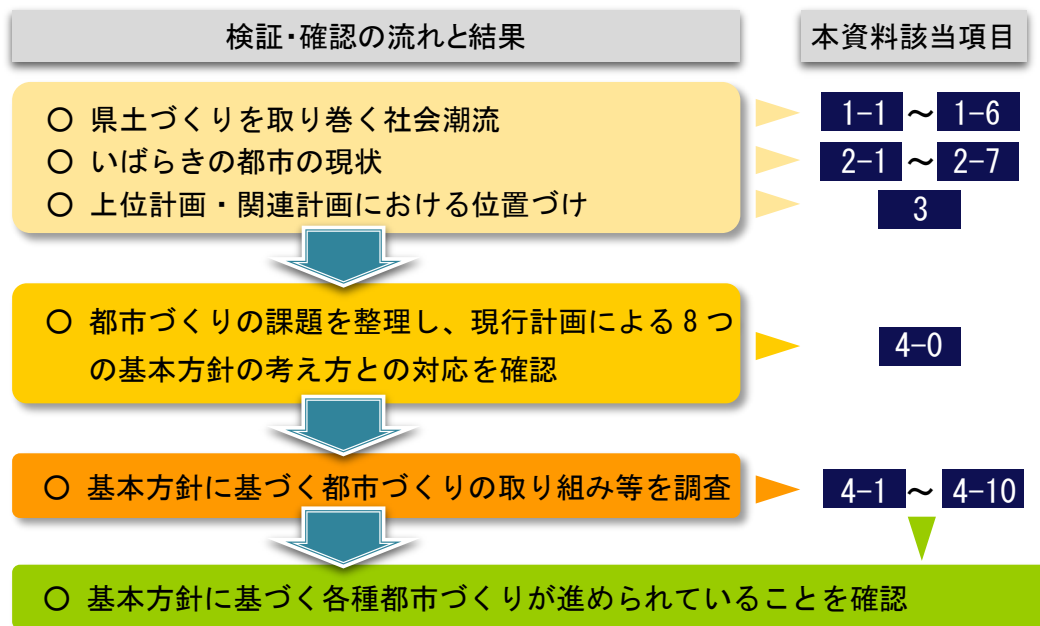
このような結果を踏まえ、引き続き現行計画に基づき、本県の都市づくりを推進していくものとします。

なお、「目標年次」については、現行計画における基本理念や将来都市構造及び震災対策編と同じく平成37年度とします。

「ゾーン別の基本方針」については、県土づくりの基本方針に基づき設定されたものであり、またその内容に大きな変化はないことから、引き続き現行計画に基づきゾーン別の都市づくりを推進していきます。

また、今後市町村の意向把握や関係機関等との協議・調整を進めながら、今回の検証結果や各都市計画区域の特性に応じて、都市計画区域マスタープランの見直しなど、必要な都市計画の見直しを行うものとします。

■現行計画の検証・確認の流れと結果



5-2 検証結果を踏まえた都市づくりの方向性

検証・確認結果を踏まえ、引き続き現行計画に基づき、**市町村と連携しながら、本県の都市づくりを推進していく**

| | | |
|---|---|--|
| <p>■ 都市計画の基本方針の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 集約型都市構造の実現 ② 誰もが利用しやすく安全・安心な都市づくり ③ 地域の活性化や産業の振興 ④ 自然的環境や景観の保全・創出 ⑤ 交流・連携、交通手段の強化 ⑥ 広域化に対応した都市づくり ⑦ 効率的な都市づくり ⑧ 多様な主体との連携 <p>※ 現行計画を踏襲</p> <p>茨城県都市計画 マスタープラン 茨城県土木部 都市局都市計画課</p> | + | <p>■ 災害に強い都市づくりの方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生命を守るための減災対策や機能強化 ② 都市機能を維持する代替性・補完性の確保 ③ 震災時の生活維持を支えるコンパクトな都市づくりや地域防災力の向上 ④ 防災性の向上による安全・安心の都市づくり ⑤ 産業の振興や地域の活性化のための復旧・復興都市づくり <p>※ 震災対策編を踏襲</p> <p>茨城県都市計画 マスタープラン 震災対策編 茨城県土木部 都市局都市計画課</p> |
|---|---|--|

【都市づくりの基本理念】
次世代を育み、未来につなぐ「人が輝き、住みよい、活力ある」都市

■ 将来都市構造<視点とモデル>

【集約と連携】

～「コンパクトな都市」と「メリハリある地域」の連携～

視点

- ①都市の集約化と活性化
- ②地域の個性ある発展と相互連携の強化
- ③連携と交流を支えるネットワークの構築
- ④自然環境の保全と共生

<将来都市構造モデル>

発 行 平成26年12月

発行者 茨城県土木部都市局都市計画課

〒310-8555水戸市笠原町978番6

T E L 029(301)4592

F A X 029(301)4599

E-mail : toshikei-shigaichi@pref.ibaraki.lg.jp

